

## 《学部消息》

### 理学部長と理職の交渉

理学部長と理職（理学部職員組合）の交渉は、昭和60年9月24日と10月28日に行なわれた。主な内容は以下の通りである。

#### 1. 人事院勧告について

理職は人事院給与勧告が完全実施されるよう学部長としての努力を要望した。学部長は完全実施の要求に同意を示し、総長、国大協等を通じての努力を約束した。また理職は予測される新俸給表への移行が職員の待遇改善につながる方向で行なわれるよう要望し、学部長も善処を約束した。

#### 2. 勤務延長・再任用について

理職は来年3月退職予定者の勤務延長及び今年勤務延長者の再延長・再任用を要求した。学部長は「2名の勤務延長を強力に推している。状況は厳しいが再任用も含めて努力する。」と述べた。

#### 3. 定員外職員の定員化について

理職は定員化を希望している2名について見通しを尋ね、学部長は「本年度中に定員化されるよう努力する。」と答えた。

#### 4. 行（二）から行（一）への振替について

理職は振替を希望している2名について見通し

を尋ね、学部長は「職務実態にふさわしく振替が実現するよう努力する。」と答えた。

#### 5. 昇格について

理職は図書・技術系職員の5等級昇格への再上申について尋ねたが、学部長は「該当者全員を再上申した。」と答えた。

#### 6. 技術系職員の専門行政職俸給表への移行について

理職は8月に提出した「大学技術系職員に対する専門行政職俸給表適用についての要望書」についての見解を尋ねた。学部長は要望書に示された基本的理念に理解を示した。

また理職は文部省が示した検討委員会試案について、理職の基本的要求とは相いれぬものであるという見解を示し、理学部としての今後の対応を尋ねた。学部長は「国大協の対応が重要であり、国大協に専門行政職俸給表適用のためのワーキング・グループを作るよう提案する。理学部にも技

術職員問題検討小委員会を置き、国大協への要望書を作る等の努力をする。」と述べた。

#### 7. 教務職員の待遇改善について

理職は、教務職員制度の廃止・助手講師振替・職名によらぬ昇格を求める要望書を提出し、これらの要求を教務職員固有の問題として実現するよう要望した。学部長は「現在の教務職員制度が矛盾に満ちていることは承知している。専門行政職問題とのからみもあるが、教務職員固有の問題もあり、全国理学部長会議でも検討したい。」と答えた。

#### 8. その他

理職で行なった助手の実態調査については学部長は今後の理学部のあり方を考える上で参考になるので活用したいと述べた。また助手の特昇の運用について話し合われた。

(以上)

## 教 授 会 メ モ

### 9月25日(水) 定例教授会

理学部4号館1320号室

- 議 題 (1) 前回議事録承認  
(2) 人事異動等報告  
(3) 研究生の入学について  
(4) 研究生の期間延長について  
(5) 人事委員会報告  
(6) 教務委員会報告  
(7) 企画委員会報告  
(8) その他  
東京大学学務関係事務電算処理  
委員会報告

### 10月16日(水) 定例教授会

理学部4号館1320号室

- 議 題 (1) 前回議事録承認

(2) 人事異動等報告

(3) 人事委員会報告

(4) 会計委員会報告

(5) その他

東京大学学務関係事務電算処理  
委員会報告

### 11月20日(水) 定例教授会

理学部4号館1320号室

- 議 題 (1) 前回議事録承認  
(2) 人事異動等報告  
(3) 人事委員会報告  
(4) 昭和61年度文部省内地研究員の  
受け入れについて  
— (5) その他

## 理学博士の学位授与者

〔昭和60年9月26日付（5名）〕

専門課程	氏名	論文題目
論文博士	飯 哲 夫	タバモウィルスのゲノム構造に見られる普遍性と多様性
化 学	長 瀬 敏 雄	エポキシドと求核試剤を合成ブロックとする新しい有機合成反応の研究
論文博士	天 笠 準 平	フォトダイナミック作用による転移RNAの不活性化
地球物理学	日比谷 紀 之	海堆上での潮汐流による内部波の生成機構
論文博士	盧 家 福	直流磁束パラメトロン計算機技術—ジョセフソン計算機設計への新しい接近

〔昭和60年10月28日付（2名）〕

物 理 学	木 村 薫	アモルファス $AS_2S_3$ の光構造変化とバンド端の局在状態
生 物 化 学	浜 千 尋	Col Ib プラスミドのDNA複製を正及び負に調節する <i>rep Y</i> 及び <i>inc</i> 遺伝子

## 人 事 異 動

（講師以上）

所属	官 職	氏 名	発令年月日	異動内容	備 考
化 学	教 授	朽 津 耕 三	60. 10. 12	併 任	評議員 62.10.11 まで
物 理	教 授	藤 井 忠 男	60. 10. 16	配 置 換	神戸大理教授
"	"	"	"	併 任	本務：神戸大理教授 61.3.31 まで
物 理	講 師	岡 林 孝 郎	60. 11. 1	昇 任	助手から
地 理	助 教 授	大 森 博 雄	60. 11. 16	昇 任	講師から

（助 手）

数 学	助 手	柘 田 幹 也	60. 9. 30	辞 職	大阪市立大講師へ
生 化	助 手	東 島 勉	60. 10. 1	復 職	
植 物	助 手	坂 野 勝 啓	60. 10. 1	転 職	農生研，研究室長へ
鉱 物	助 手	大 隅 一 政	60. 10. 1	昇 任	高工研，助教授へ

（職 員）

物 理 事 務 官	二 見 晴 美	60. 10. 1	採 用
-----------	---------	-----------	-----

## 海外渡航者

(6ヶ月以上)

所属	官職	氏名	渡航先国	渡航期間	渡航目的
天文	助手	尾中 敬	オランダ アメリカ合衆国	9. 6～ 61. 6. 21	天文学に関する調査研究のため
物理	助手	石井 克哉	アメリカ合衆国	9. 14～ 61. 9. 17	渦現象の数値的・理論的研究のため
数学	助手	木村 弘信	フランス	9. 8～ 61. 10. 1	日仏セミナー「複素領域における微分方程式」出席及び研究連絡のため
中間子	助手	久野 良孝	カナダ	10. 2～ 61. 9. 30	K中間子崩壊研究参加のため
鉱物	講師	小澤 徹	アメリカ合衆国	10. 21～ 61. 8. 19	鉱物の微細組織の研究のため

## 外国人客員研究員報告

所属	受入れ教官	国籍	氏名	現職	研究期間	備考
物理	西島 教授	デンマーク	J. AMBJORN	ニールスボーア研究所所員	60. 8. 13～ 60. 9. 13	ニールスボーア研究所
物理	宮沢 教授	インド	P. P. DIVAKARAN	タタ基礎科学研究所所員	60. 8. 11～ 9. 11	タタ研究所
物理	宮沢 教授	中華人民共和国	宋 孝 同	杭州大学 助教授	60. 8. 13～ 9. 13	中国政府
物理	江口助教授	日本	三 田 一 郎	ロックフェラー大学教授	60. 7. 28～ 60. 9. 7	ロックフェラー大学
物理	江口助教授	日本	二 宮 正 夫	ブラウン大学 助教授	60. 7. 25～ 60. 8. 25	ブラウン大学
物理	宮沢 教授	日本	須 浦 寛	ミネソタ大学 教授	60. 10. 1～ 12. 31	ミネソタ大学
数学	藤田 教授	ブラジル	V. Ruas Santos	カソリカ大学 準教授	61. 1. 1～ 2. 28	ブラジル政府
数学	岩堀 教授	日本	鈴 木 通 夫	イリノイ大学 教授	60. 10. 5～ 61. 1. 4	JSPS
数学	伊藤 教授	シンガポール	Stephen T. L. Choy	シンガポール 大学準教授	60. 10. 25～ 11. 7	JSPS
数学	塩田助教授	ドイツ連邦共和国	Herbert Popp	マンハイム大 学教授	61. 3. 2～ 4. 30	マンハイム大 学
地物	佐藤 教授	アメリカ合衆国	David D. Jackson	カルフォルニア大学 ロスアンジェルス校教授	60. 11. 5～ 61. 6. 15	
地質	飯山 教授	フランス	Jean-Hugues THOMASSIN	オルレアン大 学助教授	60. 8. 14 61. 11. 15	JSPS CNRS

## 編集後記

前号ゲラー先生の文中、カットを入れるつもりが手違いで空白になってしまいました。不手際をお詫びします。

去る6月30日に亡くなられた高橋秀俊名誉教授は、ロゲルギストのひとりとして文筆家でもられました。先生を偲んで遺稿を転載させていただきました。

神戸事務長補佐が急逝され、学部長と石井さんには、校正段階に短時間で追悼文を書いていただきました。お引き受け下さったことに感謝いたします。  
(松野記)

---

### 編集：

佐佐木 行 美 (化学)	内線	4 3 5 9
田賀井 篤 平 (鉱物)		4 5 4 4
高 橋 正 征 (植物)		4 4 7 4
矢 崎 紘 一 (物理)		4 1 2 3
松 野 太 郎 (地物)		4 2 9 4

---